

掲載しているイベント・休館日等の情報は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況等に応じて、中止または変更になる場合があります。最新の情報は、図書館ホームページにて掲載しています。

◆こども図書館本の森にも 少しずつ笑顔が！

新型コロナウイルス感染症対策として、制限のある中での図書館利用をお願いしていましたが、新しい生活様式を取り入れながら、学習席やおはなしのへやの滞在が可能となりました。「本の森」には、こどもたちの元気な姿が戻りつつあります。

今後は、図書の消毒機を設置するなど、感染症対策を意識しながら、イベントを再開していきます。



◆イベント広場でホットと一息♪

イベント広場駐車場に花壇があるのはご存じですか？

この時期は、サルビアやマリーゴールドが満開ですが、この花を美しく保つために、地域のボランティアのみなさんが活動してくださっています。



歴史講座「日本仏教の歴史」

各宗派の成立と変遷について、真言宗智山派文殊院住職である黒澤氏を講師に招き理解を深めます。

日時：9月12日(土) 午後2時～4時

場所：中央図書館 読書室

講師：黒澤彰哉氏

定員：50人

申込方法：8月5日(水)から電話または図書館カウンターで申し込み。

※感染症対策のため、通常定員の半分での募集となります。

8月のおはなし会

◆こども図書館 午前10時30分から

おはなし玉手箱 1日(土)

ひよこのおはなしかい 13日(日)

むかしむかしのおはなし会 15日(土)

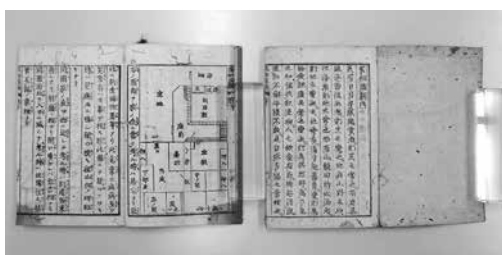
◆中央公民館 午後2時30分から

おはなしフレンズ 8日(土)

【8月の休館日】

3日(月)・10日(月)・11日(火)・17日(月)・24日(月)・

31日(月)



『家相図解 上・下』

今回は江戸時代の家相学の刊行で、現代という住宅カタログです。瓦会地区のお宅に残されていました。
家相学とは、土地の形や家の間取りから吉凶を考える易学です。寛政10年(1798)の本『家相図解』を紹介...

時の記憶

シリーズ178

江戸時代の 住宅カタログ

文化振興課(支所)

Tel 43-1111 (内線1324)

学の一つです。似たものとして大陸由来の風水思想がありますが、家相学は風水思想を基礎に陰陽道などを混ぜて作られた日本独自の易学です。

内容を見ると、写真のような間取りで南・北に間口が向くように作ると病氣などの災いが多くなり、西に間口が来るようにすると繁栄の相になるそうです。瓦会地区の人々もこれらを参考に家づくりを行ったのではないのでしょうか。

200年前は現代よりも占いや神仏が重要な意味を持ち、病氣や災害を避けるにはそれらと上手に付き合う必要があると考えられていました。家相図解はそのような江戸時代の人々の暮らし方を教えてくれる貴重な資料です。

ふるさと歴史館では、少し昔の書籍や日用品に関する展示を開催しています。

ふるさと歴史館企画

身近な文化財

— 石岡市寄贈資料展 —

期間／10月4日(日)まで

場所／ふるさと歴史館

休館日／月曜日

(祝日の場合は翌日)

俳句

いしおか俳句同好会

南台 菅野 憲枝
外出はスーパードライの更衣

石川 田口 美子
草を刈る八十路の夫の粘り腰

三村 田端 俊行
言い合いて支え合いての喜寿の春

細谷 松崎 淑子
採血の胸騒ぎして梅雨の蝶

旭台 四日市ゆみ子
薫風や三密さけて古寺巡る

やさと俳句会

片岡 馬場 小零
会へぬ日を重ね卵の花腐しかな

太田 越智 旅舟
手捻りの茶碗に香る新茶かな

山崎 荒井 栗山
郷愁を湧かす色なり麦の秋

短歌

石岡短歌同好会

南台 海老澤明子
新聞に「人出少なき連休」の

記事コロナ禍の五月の六日
東大橋 醍醐 正夫

飼い主がボールを投げて「へー
イへイ啞えた犬は戻って来ない

高浜 大嶋 全江
キャッシュレスの時代に小銭をさが
しるるわれのうしろは苛つく気配

俚謡(都々逸)

石岡俚謡会

南台 香俱耶姫
熱海温泉 貫一お宮

月も泣いてる コロナ風
国府 坂下 蜻蛉

コロナ予防の 大きなマスク
声を出さずに 目で話す

川 又前島 節子
光る海辺に 寝ころぶ二人

空にやでつかい 夢がある
総社 睦 夢華

何と言つても 家族が大事
特に子供は 宝物

国府 篠原美千代
馬鹿になるのも 時には大事

母は聞き役 なだめ役
東石岡 惣野代英子

田植えすませて 一息ついて
願う豊作 青田風

貝地 前島くに子
子等が待つてる 海水浴も

コロナ騒ぎで つらい日々
府中 小川野 蛙

ステイホームも 終わって今日の
空はどこまで 青い空

石岡 石塚 芳華
ゆるるカーテン 緑の風が
朝をハミング して通る

川柳

いしおか川柳会

柿岡 平野 敬
雨上がりお隣さんと花談義

山崎 若色 茂
原因はみな夫源病うちの妻

東石岡 安部 正一
三歳児祝い袋を覗く孫

投稿作品

山崎 鈴木 君江
深緑の滴り止まぬ野も山も

自然の営み愛でつ暮れゆく
山崎 荒井 幸子

不条理な拉致の悲しみ癒へぬま
ま横田滋さん逝ってしまへり

柴内 羽生 俊
暑くなるコロナウイルス石

岡ぞる通学バスや半日帰る



第23回 やさと読書会

文化協会だより

やさと読書会は、昭和62年、八郷地域読書会「みちくさの会」「こもれびの会」「藤壺の会」の連合から始まり、はや32周年を迎えました。

月1回原則第4水曜日午前中に中央公民館に集まり、読んだ本の紹介や時の話題など、楽しい会話に花を咲かせています。この定例会の他、青空朗読会、文学散歩(日帰りバス研修)、合同課題読書会など盛り沢山です。

機関誌「であい」の作品発表や、会員各自が小学校に出向いて読みきかせ等々、脳

トレ、筋トレになりますので、是非ご一緒にいかがですか？

8月は、26日(木)午前9時30分から、中央公民館2階会議室で活動予定です。



会員数：17人 年会費：2,000円

やさと読書会 会長 合田浩子

Tel 42-2240 FAX 42-3996 (吉野)